令和８年



年末の交通安全県民運動



～慌ただしい時期になりますが、心にゆとりを持って運転しましょう～

期　　間　12 月 21 日(月)～12 月 31 日(木)

スローガン　それいいね　夜道にきらり　反射材

運動の目的　この運動は、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけることで、県民の交通安全意識の高揚及び年末期における交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

運動の重点

1　夕暮れ時と夜間の交通事故防止（特に横断歩行者の事故防止）

○　夕暮れ時・夜間に出歩く際は、明るい色の服装や反射材を自発的に着用し、LED ライトなどの灯火具を利用する習慣を付けましょう。
○　午後４時 30 分を目安に車両(自転車を含む)の早めのライト点灯を習慣付けましょう。
○　ハイビーム(上向きライト)を効果的に活用し、歩行者・自転車の早期発見に努めましょう。
○　夕暮れ時・夜間は周囲の状況に応じて速度を抑えた運転を心掛け、特に交差点や横断歩道付近では十分に速度を落とし、周囲の安全を確認しましょう。



2　高齢者の交通事故防止

○　道路を横断する際は、遠回りでも横断歩道を利用し、左右の安全を確認してから渡りましょう。
○　横断歩道を渡る際は、手を上げるなど横断意思を示しましょう。
○　横断中も油断せず、周囲の安全を確認しましょう。



3　飲酒運転の根絶

○　自転車も含めて「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底しましょう。
○　「自動車等で飲食店へ行く際は、飲酒しない人(ハンドルキーパー)を決め、飲酒した人にハンドルを握らせない」ハンドルキーパー運動を普及・促進しましょう。



4　自転車の安全利用の促進

○　自転車で外出する際は、早めにライト点灯させるとともに、明るい色の服装の着用を習慣付けましょう。
○　大切な命を守るため、自転車乗車用ヘルメットを着用しましょう。
○　歩行者、自転車、自動車等がお互いの立場を思いやる「シェア・ザ・ロード」の精神で道路を共有しましょう。

安全・快適・思いやり
合言葉は・・・



交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部

実施機関・団体の主な推進事項

全ての 機関・団体	○　本運動の目的及び重点を周知させ、夕暮れ時の早めのライト点灯、手上げ横断の定着化、反射材等の着用、全ての座席におけるシートベルト着用、飲酒運転の根絶、自転車乗用時の交通ルールの遵守等、職員自身が率先して模範的な交通行動を示すよう特段の配意をし、交通事故の総量抑止に向けた交通安全対策を強力に推進する。
県・市町	○　関係機関・団体との連携を密にし、「夕暮れ時の早めのライト点灯・前照灯のこまめな切り替えキャンペーン」と連動した効果的な運動を推進する。 ○　「飲酒運転追放キャンペーン」を積極的に推進し、県民一人ひとりに「飲酒運転をしない、させない、許さない」という意識を徹底させ、飲酒運転根絶に向けた社会的気運の高揚を図る。 ○　各種広報媒体を活用し、身近な交通事故実態、反射材等の必要性、夕暮れ時の早めのライト点灯・前照灯のこまめな切り替えの推進、シートベルトとチャイルドシートの着用効果、飲酒運転根絶等、運動の広報啓発活動を活発に展開する。
学　校 教育委員会	○　冬休み前の集会等の機会をとらえて、児童・生徒に、歩行中の安全な通行方法、自転車の安全利用等の正しい交通ルールの理解と交通マナーの向上を図る。 ○　自転車乗用時のヘルメット着用、夜間のライト点灯について指導する。
警　　察	○　各種広報媒体を積極的に活用して本運動の周知を図るほか、関係機関・団体へ交通事故発生状況等の情報を提供し、効果的な活動の促進及び県民の交通安全意識の高揚を図る。 ○　関係機関・団体と連携し、交通安全イベントや世代間交流型交通安全教室等の参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、街頭での積極的な声かけ活動や反射材の配布活動等を展開する。 ○　交通事故分析に基づいて、事故に直結する悪質性・危険性及び迷惑性の高い交通違反の指導取締りを強化する。
交通安全協会 交通安全母の会	○　保有する広報資材を有効に活用して、効果的な広報啓発活動を実施する。 ○　各機関・団体等と連携し、街頭活動を積極的に展開するとともに、世代間交流にも配意した、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施する。 ○　こどもと高齢者の保護誘導活動や高齢者世帯訪問活動を推進する。 ○　こどもと高齢者を重点とした交通安全教育を推進し、歩行中や横断時、自転車利用時、電動車いす利用時の安全意識の向上を図る。
高齢者関係団体	○　各機関･団体と連携し、積極的な交通安全教室等を開催する。 ○　各会合等において、夕暮れ時・夜間時に外出する際の明るい服装と反射材等の着用を徹底するよう呼び掛ける。 ○　道路を横断する際は、周囲の安全確認を十分に行うよう呼び掛ける。
その他関係 機関・団体	○　「夕暮れ時の早めのライト点灯・前照灯のこまめな切り替えキャンペーン」と連動し、周囲へ注意を促すため、早めのライト点灯を推進する。 ○　安全運転管理者・運行管理者は、ドライバーの安全運転意識の向上、アルコールチェックの徹底等、事業所全体で交通事故の防止、飲酒運転の根絶を徹底する。 ○　自治体や警察との連携のもと、各機関・団体の特性に応じた取組みを推進するとともに、職員・会員等を運動行事に積極的に参加させる。 ○　飲食店、酒販店等は、運転者への酒類提供禁止及びハンドルキーパー運動を促進する。 ○　シートベルト、チャイルドシートの着用効果を広報し、完全着用を推進する。 ○　報道機関は、積極的に運動の周知報道に努めるとともに、関係機関・団体等が行う各種行事開催の機会をとらえて広報啓発活動を行う。

～交通事故のない愛顔（えがお）あふれる愛媛県を目指して～